

2024 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2024 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「国際関係学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
国際関係学科 国際関係学専攻	2	0	0

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
国際関係学科 国際関係学専攻	4	4	4

2. 試験内容

オリンピック憲章（2021年版）のオリンピズムの根本原則4を、公益財団法人日本オリンピック委員会から引用して翻訳してもらうと同時に、その内容に関連した人権概念に対する理解の確認を行いました。

3. 出題意図

基礎的な英語力があるかどうか、および、①人権とは何か、②日本ではどのような人権が保障されているのか、③国内で発展した人権概念がどのように国際的なレベルに展開していったのかへの理解や、さらに③スポーツをすることなども人権として認められるような近年の人権内容の多様化や詳細化の動き、④人権侵害に対して NGO などを含む国際社会から向けられる厳しい対応などについて関心を有しているかどうかを確認しました。人文・社会科学の基礎となる人権についてどの程度理解し関心を持っているのか、また、国際関係学部に入學した後の国際的視座からの学びに関して、どの程度の素養を持っているのかを判断する目的から本内容を出題しました。

4. 評価ポイント

出題された文章全体の意味を把握できているか、基本的な英単語や用語、及び英語表現を知っているか、人権とは何かや、日本国憲法で保障されている人権の内容、人権概念の国際的な展開、近年の人権をめぐる国際社会の動向に関してどの程度理解しているかを評価しました。

5. 解答状況

一部の受験生で、英単語の理解や日本国憲法で保障されている人権の内容について、やや戸惑った面も見られましたが、概ね文章の内容を把握し、設問に答えることができました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

出題内容は国際政治、経済、文化などに関する基礎知識と、個々の事象が持つ国際的広がりを問う文章です。英語の読解力が求められるとの前提で、細かな知識を丸暗記するのではなく、広く世界と日本で起こっている事柄に日ごろから関心を持ち、多様なソースのニュースを読む・見る習慣をつけていただきたいです。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

英語に関しては高校レベルで学ぶ基礎的な文法、単語をしっかりとおさえた上で、国際関係（政治、経済、文化）について書かれた文章を確実に理解できるように、また、新聞やテレビのニュースを一日に 5 分でもよいので読んだり視聴したりするように、さらに個々の事象のつながりを意識して知識の幅を広げるよう指導をお願い申し上げる次第です。

以上